

北海道札幌あいの里高等支援学校 学校だより

# 青 藍

令和7年度 第3号 2025年12月25日発行

学校教育目標  
**Go for your dream.**  
『夢のために、ベストを尽くす』  
Sapporo Ainosato K.S -今の自分を越え、より高みをめざそう-

北海道札幌あいの里高等支援学校

〒002-8074 札幌市北区あいの里4条7丁目1-1

(電話) 011-770-5511

## 2学期を終えるに当たって

副校長 中川 正規

駆け抜けるように秋が過ぎ、一気に冬へととなり、長い2学期も残すところあとわずかとなりました。この間、生徒たちは様々な学習活動に意欲的に取り組み、それぞれの成長を感じています。

現場実習や長期インターンシップは、生徒たちにとって非常に貴重な学びの機会となりました。

1年生にとっては、初めての長期間の校外での学習、2年生にとっては、3年生になるに当たって、進路の方向性を定めていく学習、3年生にとっては、卒業後の進路決定に向けた大切な学習となります。学校とは異なる環境や規則、そして働く方々の真剣な姿勢に触れ、想像と実際とのギャップに戸惑うこともあったかもしれません。しかし、生徒たちは持ち前の真面目さで一つひとつの課題解決に取り組み、「挨拶の大切さ」「報告・連絡・相談の重要性」「時間を守ることの責任感」など、社会人として不可欠な姿勢を深く学び取って来ています。実習を終えた生徒たちの顔つきは、一回りも二回りもたくましく、自信に満ちたものとなっています。これもひとえに、温かく指導いただいた実習先の皆様、そして何より、生徒たちの挑戦をそばで見守り、支えてくださった保護者の皆様のおかげであると考えています。身に付けた力を日々の学習にいかすことができるよう取り組みを進めていきます。

また、本校が教育活動の基軸とする「あい Circle」については、2年ぶりに本校を会場に実施しました。地域から40の団体の参加があり、製品販売や生徒たちが日々の作業学習で心を込めて製作した製品の販売や、学習活動の発表、北海道教育大学札幌校の学生との協働での運営などを通して、地域の皆様と交流する機会が多くありました。この活動は、生徒たちが地域の一員としての役割を自覚し、自らの活動が社会に役立っているという実感を得る上で、大変有意義な時間となっています。「ありがとう」という感謝の言葉をいただく経験は、生徒たちの働く意欲や自己肯定感を育む事に大きくつながっています。

これらの経験を通じて得た学びを、生徒たちが将来の自立と社会参加を目指す上で、かけがえのない財産となるよう、今後も職員が一丸となり支援を進めたいと考えています。

保護者の皆様におかれましても、この2学期の生徒の頑張りを、お子様とご家庭で振り返っていただき、3学期に向けて、お子様が目的を持ち学ぶための状況づくりにご支援をいただければと考えております。

引き続き、本校の教育活動へのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



# ≡ 現場実習 ≡



～各学年からの報告～



工房ぶらりさんで、委託作業と小物製作の仕事をしました。実習で難しかったことは、1つ目が、職場の人とのコミュニケーションです。自分から声を掛けることが難しく、スタッフさんを間にはさんで、会話をしました。2つ目は、手先を使った作業です。作ったことがない小物だったのですが、スタッフさんが優しく教えてくださったので、上手にできました。

これからは、コミュニケーション力をもっと高めたいので、色々なことに挑戦し、悩みがあったら一人で抱え込まず、家族や友達、先生に相談をしていきたいです。

(1年6組 小野田 優衣)

私は、ドラッグストアで現場実習を行い、品出しや前出しの仕事をしました。

トイレトーパーなどの大きな商品の補充をする時は、重たくて大変でしたが、品出しのやりがいや楽しさを学ぶことができました。また、時間管理の大切さを教えていただきました。

今後は、時間を意識した行動ができるように、これからも頑張っていきます。

(2年4組 福島 葉月)



3 学年



私は就労移行支援事業所ディーキャリア札幌オフィスへ実習に行きました。

こちらを利用している方やスタッフの皆様が、優しく丁寧にサポートしてくださり、安心して過ごせる環境でした。プログラムで個々の特性を知り、力を発揮する方法を学ぶことができました。

この経験を残りの学校生活で活かしていきたいと思っています。

(3学年生徒)



# 学 校 祭

2025 年 12 月 12・13 日

1

学年

「笑顔満祭(えがおまんさい)」



記念すべき 10 期生の 1 学年。

「笑顔満祭」をテーマに迎えた学校祭では、本当に多くの主役が生まれました。表舞台で演じて活躍する生徒、仲間を支える生徒、それぞれが、役割の中で力を発揮、全ての生徒に学びと成長がありました。1 学年生徒たちの「ノリの良さ」「エネルギー」

「勢い」という、心から学校祭を楽しむ前向きな姿勢は、我が 10 期生、1 学年の魅力であり、今後の成長がますます楽しい学校祭となりました。

(文責：笹 本 大 輔)

2

学年

「繋(つながり)～時をかける2学年～」

2 学年は「繋(つながり)～時をかける 2 学年～」という学年テーマのもと、劇を行いました。俳優・ダンサー・クリエイターという役割を一人一人が担い、当日に向けて準備を重ねました。

プロジェクトリーダーを中心として、グループごとの進捗状況を共有しながら学年全体が一体となって本番に向かっていく様子は、とても頼もしく見えました。

発表当日も堂々と発表することができました。家庭でのサポート、ありがとうございました。

(文責：宮 丸 恭 平)



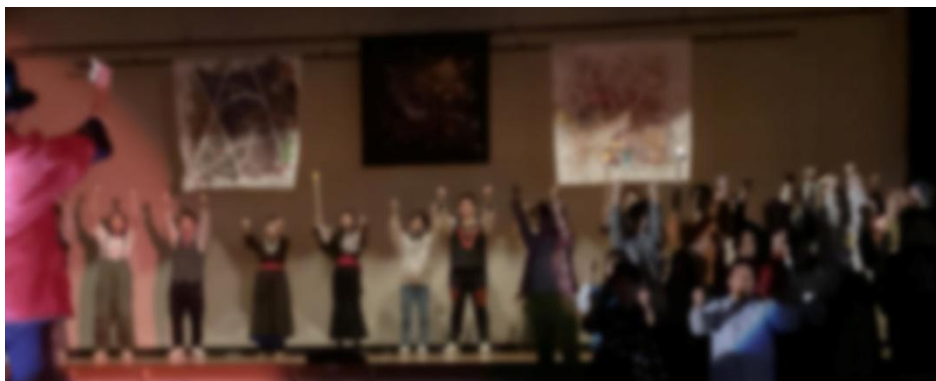
3

学年

「The Greatest Show! ～私たちの3年間～」



3 年間の自分たちを、映画『The Greatest Showman』の音楽に合わせたダンスで表現するという、とても難しい発表に挑戦した 3 学年。ダンスが得意な生徒ばかりではありませんが、音楽がかかると自然と体が動いてしまうほど集中して練習に臨みました。また、生徒の一人が「学年の歌を作りたい」と声を上げ、プロジェクトチームを立ち上げ、学校祭当日全員で歌うことができました。



緊張のあまり震えていた生徒、自主的に朝練・昼練していた生徒、魅せ方をじっくり考えた生徒、3 年間の自分たちを掘り起こして台詞を考えた生徒、ここでは伝えられないほど真剣に取り組んだ発表には、一人一人の気持ちが込められていました。

(文責：板 橋 敦 子)



## 創立10周年記念コンサート



12月13日(土)は、学校祭の学年発表と開校10周年記念セレモニーが行われました。そして、2日間の学校祭の締めくくりとして、最後に記念コンサートが行われました。

開校10周年の記念事業について、生徒や卒業生からアンケートを取った際に、「札幌国際情報高校吹奏楽部に来てほしい」という意見がありました。

13日(土)は、その意見を上げた卒業生も来ていました。年間130回もの公演をこなす Special なバンドなだけあって、1曲目から私たちのハートをつかみダンスしながら演奏するという「ダンプレ」を堪能しました。

コンサート終了後は、廊下で演奏に見送られながら HR 教室へ戻りました。

(文責:開校10周年準備委員会 新保 裕 行)



## 第2回あい Circle

10月18日に第2回あい circle を開催しました。当日はあいにくの雨でしたが、担当の2学年の生徒と、40を超える関係団体の皆様で協力して運営し、地域の皆様にあい circle を楽しんでもいただきました。来場者数は786人で、運営者を含めて約900人が本校に集まり一緒に活動しました。

各学科の活動では、製品販売や接客サービス、活動紹介等を行い、普段の学習の成果を発揮することができました。PTA でお手伝いいただいた保護者の皆様にも感謝を申し上げます。

第3回あい circle は3月19日です。次回は1学年が担当です。有意義な活動にできるよう準備を進めてまいります。  
(文責:教務部 解 良 和 人)



3学期始業式は1月19日(月)です。

また元気に皆さんに会える日を楽しみにしています。  
時間を大切にして、有意義な冬休みをお過ごし下さい。

